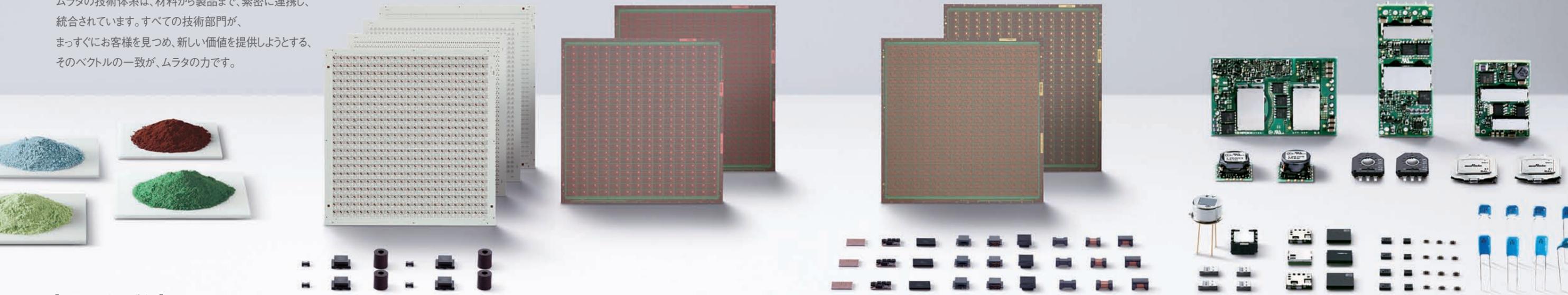


Murata's Core Competence

すべての技術がまっすぐに市場を、お客様を志向しています。

ムラタの技術体系は、材料から製品まで、緊密に連携し、統合されています。すべての技術部門が、まっすぐにお客様を見つめ、新しい価値を提供しようとする、そのベクトルの一致が、ムラタの力です。



[ムラタのものづくり]

材料

電子部品の特性に決定的な影響を与えるセラミック材料や電極材料を、高い精度で制御する技術を確立しています。



成形

厚さ1 μ m以下のセラミックシートから、射出成形による複雑な形状まで。“機能のための形”を追求しています。



焼成

セラミックスは、焼き固められることで結晶構造が変化し、性能を発揮します。炉の中の見えない挙動を制御する技術です。



加工

焼成までの工程を経て電気的な性能を獲得したセラミックスは、次にさまざまな加工が施されて、「電子部品」として完成されていきます。



完成

完成した製品は、厳しい検査を受け、その性能を保證されたものだけが、ムラタ製品としてお客様に届けられます。



[ムラタのコア技術] ムラタを支えるコア・コンピタンス

材料技術

10年先を見据えて、源流から新しく。

材料、部品、モジュールというエレクトロニクスにまつわるものづくりの技術を、自社内に垂直統合しているのがムラタの特徴であり、強味でもあります。セラミック材料や有機材料に関する技術はすべての工程の川上にあり、ここにどれほどのシーズを蓄えているかが未来を決めると考えています。10年先の世界を見据えたロードマップをつくり、さまざまな特性を持った材料の開発を進めています。



株式会社村田製作所
技術・事業開発本部
マテリアル技術センター
勝 勇人

積層技術

小型大容量化の先端を走る総合技術。

調製されたセラミック材料をきわめて薄いシートに成形し、電極を形成して何層にも積み重ねる工程が積層技術。ムラタは長年にわたって積層セラミックコンデンサを開発、生産する中で、この技術を徹底的に鍛え上げてきました。すべての工程の技術が高いレベルでバランスを保っていることが、ムラタのアドバンテージです。小型大容量化の要求が日増しに高まる中で、QCDをトータルで提供することができます。



株式会社村田製作所
技術・事業開発本部
新規プロセス開発センター
田畑 和寛

生産技術

オリジナルな設備に蓄積される固有技術。

ムラタは基本的に生産設備を自社オリジナルで開発・製造しています。たとえば、私が担当している外観検査装置は、独自の画像処理アルゴリズムにより、製品の品質づくり込み・品質保証を実現しています。エレクトロニクスに新たな価値を創出し、提案するムラタの企業活動、その成果としての商品を生み出すには、製品コンセプトにマッチした生産ライン・設備が必要であり、また、そのことがムラタの競争力につながっています。



株式会社村田製作所
技術・事業開発本部
新規プロセス開発センター
西木 亮

高周波技術

コミュニケーションの明日を支えるテクノロジー。

急速に進化するスマートフォンやタブレット端末など、モバイル機器のイノベーションを支えているもの。それは、ムラタの高周波フィルタ、およびそれがパッケージされた通信モジュールです。小型で高機能な機器の中には、ムラタ独自のLTCC設計技術やシミュレーション技術でデザインされたモジュールが集積されています。時代の動きを先取りして、未来のニーズにマッチした新たな技術開発に取り組んでいます。



株式会社村田製作所
通信事業本部
通信システム商品事業部
小野 農史